

平成 21 年度第 3 回会計学教育 FD/IT 活用研究委員会議事概要

- I. 日時：平成 21 年 10 月 10 日（土）午後 4 時から午後 6 時まで
- II. 会場：社団法人私立大学情報教育協会会議室
- III. 出席者：岸田委員長（司会）、高松委員、河崎委員、金川委員、松本委員、阿部委員、井端事務局長、森下、恩田

IV. 検討事項

1. 議論を始めるにあたって

事務局から会計学教育における学士力と、それに関連するコアカリキュラム、到達度等について早急な取りまとめが依頼された。

委員長より教育の質保証についての提言（資料②）後、議論が開始された。

2. 具体的検討事項

各学士力（案）に対して、「コアカリのイメージ」、「到達度」、「測定方法」を設定することが事務局から説明され、具体的な作業プロセスとして会計学入門（資料①、2 ページ）をベースとしながら議論することが提言・了承された。

4 つの学士力（案）（③、④は一部改訂された）、すなわち、

- ①会計情報の特徴や作成プロセスが理解できる。
- ②組織活動の財やサービスを計数的に測定し、伝達できる。
- ③組織の経済活動の実態を会計情報として体系的に把握し、問題発見ができる。
- ④会計情報の有用性を理解し、問題解決や意思決定に応用できる。

について、議論の結果、①に関しては入門レベル、②～④に関しては専門レベルのみを検討することとなった。また入門のレベルでは「理解すること」に重点を置き、専門レベルでは「説明できること」に重点をおくことが確認された。

議論の結果は「会計学教育における学士力（案）」として事務局でまとめられた。各委員にメールで送信され、次回の委員会までに再度、詳細な検討が要請された。

3. 今後の予定

インターネットを通じて広く意見を募集したあと、委員会で再検討をおこない「会計学教育における学士力」としてまとめられることが確認された。

4. 次回の委員会

11 月 9 日（月）午前 10 時～正午 私情協事務局

以上